

## 《定款変更に係る議事録の作成例 1》（事業を変更する場合）

特定非営利活動法人〇〇〇〇 〇〇総会議事録

通常又は臨会

- 1 日 時 〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇時から〇〇時まで
- 2 場 所 栃木県〇〇市〇〇町〇番〇号
- 3 出席者数 社員総数〇〇名のうち〇〇人出席（うち表決委任者〇名、書面表決者〇名）
- 4 審議事項

表決委任者、書面表決者等がある場合は、それがわかるように記載します。

- (1) 定款の変更について
- (2) 定款の変更の日の属する事業年度（〇年度）及び翌年度（〇年度）の事業計画書について
- (3) 定款の変更の日の属する事業年度（〇年度）及び翌年度（〇年度）の活動予算書について
- (4) 申請書類の字句の修正の〇〇〇〇への委任について

：（以下中略）

5 議事の経過の概要及び議決の結果

定刻に至り、司会者〇〇〇〇が開会を宣言し、本日の〇〇総会は定款定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。本日の〇〇総会の議長の選出を諮ったところ、満場一致で、〇〇〇〇が議長に選任された。

審議の前に、議長が、議事録署名人について諮ったところ、満場一致で、〇〇〇〇及び〇〇〇〇の両名が議事録署名人に選任された。

(1) 定款の変更について

議長は、「定款（案）」を〇〇〇〇に朗読させるとともに、その内容を説明させた後、これを出席者に諮ったところ、異議無く満場一致で、原案のとおり可決決定された。

(2) 定款の変更の日の属する事業年度（〇年度）及び翌年度（〇年度）の事業計画書について

議長は、「事業計画書（案）」について〇〇〇〇に説明させた後、これを出席者に諮ったところ、異議無く満場一致で、原案のとおり可決決定された。

(3) 定款の変更の日の属する事業年度（〇年度）及び翌年度（〇年度）の活動予算書について

議長は、「活動予算書（案）」について〇〇〇〇に説明させた後、これを出席者に諮ったところ、異議無く満場一致で、原案のとおり可決決定された。

(4) 申請書類の字句の修正の〇〇〇〇への委任について

議長は、「申請書類の字句の修正の〇〇〇〇への委任（案）」について〇〇〇〇に説明させた後、これを出席者に諮ったところ、異議無く満場一致で原案のとおり可決決定された。

以上をもって〇〇総会の議案全部の審議を終了したので、議長は〇時閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、議長並びに議事録署名人は、次に署名(※)する。

〇年〇月〇日

議長 〇〇〇〇

議事録署名人 〇〇〇〇

同 〇〇〇〇

※定款で「署名」と定めている場合。

原本は法人で保管すべきものです。

コピーしたものを栃木県（権限移譲市町）に提出してください。原本証明は不要です。

## 《定款変更に係る議事録の作成例 2》（法第 14 条の 9 みなし総会の場合）

法第 14 条の 9 に規定されている「社員総会の決議の省略」は、理事又は社員が社員総会の目的である事項について提案した場合において、当該提案につき社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示を示した場合にのみ可能になります。

みなし総会の議事録作成にあたっては、①社員総会の決議があったものとみなされた事項の内容、②「①」の事項の提案をした者の氏名又は名称、③社員総会の決議があったものとみなされた日、④議事録の作成にかかる職務を行った者の氏名を記載する必要があります（条例第 3 条第 2 項）。

### 特定非営利活動法人〇〇〇〇 〇〇総会議事録

- 1 総会の決議があったものとみなされた事項の内容
  - (1) 特定非営利活動法人〇〇〇〇の定款変更について
  - (2) 〇〇年度及び〇〇年度の事業計画について
  - (3) 〇〇年度及び〇〇年度の活動予算について
- 2 提案者の氏名又は名称  
理事 川田 鬼怒子
- 3 総会の決議があったものとみなされた日  
〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名  
理事長 栃木 太郎

以上のとおり、特定非営利活動促進法第 14 条の 9 の規定により、社員総会の決議があったものとみなされたので、これを証するため、川田 鬼怒子 及び議事録作成者がこれに署名(※)する。

↑  
提案者の氏名を記入します

〇〇年〇〇月〇〇日

川田 鬼怒子  
議事録作成者 栃木 太郎

※定款で「署名」と定めている場合。